

2015年北海道新幹線「(仮称)奥津軽駅」開業!

平成22年

5月号

550

新入学おめでとう.....	1
町の話題.....	2
ようこそ&こんにちは.....	3
職員採用試験のお知らせ.....	4
議会だより.....	5
きらりこの人.....	7
	8

広報 いまべつ

発行/青森県今別町 編集/総務課企画 ☎ 0174(35)3012 FAX 0174(35)2298 今別町ホームページアドレス <http://www.imabetsunet.pref.aomori.jp>



入学式前に教室であいさつの練習 (緊張してます)

新入学おめでとう

4月7日、今別小学校で入学式が行われ、保護者と共に真新しいランドセルを背負った新一年生が学校にやってきました。
今年度の新入学児童20名を紹介します。

()内は、名前のふりがな及び将来の夢



小鹿 海成くん (かいせい) (りょうし)



北山 悠太くん (ゆうた) (ツルヤの店員さん)



相内 咲さん (さき) (ツルヤの店員さん)



米谷 隼くん (じゅん) (あぶらやさん)



高木 優奈さん (ゆな) (おはなやさん)



太田 慶吾くん (けいご) (しょうほうし)



入江 菜央さん (なお) (ほいくえんの先生)



小鹿 郁弥くん (ふみや) (ひこうきのパイロット)



嶋中 隆斗くん (りゅうと) (ゼルダのゲームのリンク)



太田 天晴くん (てんせい) (ウルトラマン)



笹谷 幹太くん (かんた) (けいさつかん)



新井田大輝くん (だいき) (じえいたいのひと)



館田 茉尋さん (まひろ) (ツルヤの店員さん)



本郷 翼くん (つばさ) (しょうほうし)



嶋中 和さん (のどか) (ケーキヤさん)



成田 祥佳くん (ただよし) (しょうほうし)



お母さんと手をつなぎ 足取りも軽い新1年生

新しいランドセル、新しいくつ ピカピカの1年生



山口 生織くん (いおり) (ガンダム)



小山ゆう太くん (ゆうた) (にんじゃ)



黒澤 柚葉さん (ゆずは) (ケーキヤさん)



赤坂 大地くん (だいち) (しょうほうし)

町立今別小・中学校及び今別校舎生徒数

平成22年4月1日現在

今別小学校

- ・1学年.....20人
- ・2学年.....19人
- ・3学年.....11人
- ・4学年.....19人
- ・5学年.....16人
- ・6学年.....18人

全校児童数 103人

今別中学校

- ・1学年.....23人
- ・2学年.....21人
- ・3学年.....17人

全校生徒数 61人

県立青森北高等学校今別校舎

- ・1学年.....21人
- ・2学年.....33人
- ・3学年.....22人

全校生徒数 76人

交通安全を願い ランドセルに愛の鈴を!



鈴は黄色の毛糸で包んでいます

今別町商工会女性部(島中みづ部長)では、平成3年から毎年、新1年生に交通安全の「愛の鈴」をプレゼントしています。部員たちが心をこめて手作りしたものを、今別八幡宮で祈禱し、交通事故に遭わないようにと願って、今年も入学式の日、1年生ひとり一人のランドセルに鈴を付けてあげました。島中部長は、「今後も出来る限りこの活動は続けていきたい」と話してくれました。
新1年生を地域みんなで交通事故からまもりましょう。

今別町農業委員会会長に 相内啓紀氏が選出される



相内 啓紀
農業委員会会長



明田 俊悦
会長職務代理者

今別町農業委員会委員に青森農業協同組合からは相内文雄氏（二股62歳）、津軽広域農業共済組合から唐川修一氏（大川平65歳）が推薦されました。3月31日、今別町農業委員会組織会を開催し、会長に相内啓紀氏（二股57歳）、同職務代理者に明田俊悦氏（大川平45歳）を選出しました。

青森銀行今別支店 旧店舗を町に寄贈



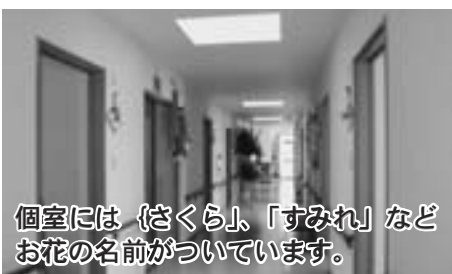
寄附目録を小鹿町長に手渡し
青森銀行林誠二常務取締役(右)

株式会社青森銀行（加福善貞頭取）では、昨年8月に蟹田支店所在地に移転した青森銀行今別支店の旧店舗を町に寄贈しました。旧店舗は町の中心にあり役場や中央公民館に近いことから、町では公民館の分館として図書を中心とした町民のふれあいの場にしたと考へ、今後改修する予定です。

グループホーム 「ふれあいの里」オープン



「ふれあいの里」正面玄関



個室には「さくら」、「すみれ」などお花の名前がついています。

株式会社白菊（代表上山等）が今別町中沢地区に建設していたグループホーム「ふれあいの里」が、このたびオープンしました。「ふれあいの里」は9名（個室9室）1ユニットの施設で、入居者が安心して生活が送れるように真心を込めたサービスを提供するグループホームです。今別町に初めてのグループホームの開設とあつて、4月17日と18日に行われた内覧会には、多くの町民が見学に訪れていました。

認知症サポーターには誰でもなれます！



オレンジリングを付けた参加者

3月26日、開発センターにおいて今別町認知症サポーター養成講座が開催されました。講師に青森市キャラバン・メイト連絡協議会会長の鶴賀茂世氏を迎え、認知症を理解し、認知症の人や家族を見守る心援者になってもらうサポーター養成のために開かれた講座で、民生委員や保健協力委員、食生活改善推進員など40名が参加しました。「認知症サポーター養成講座」を受けた人は、誰でも認知症サポーターになれます。サポーターには目印として「オレンジリング」が手渡され、自分ができる範囲で認知症や家族の方のお手伝いをしていくこととなります。講座を受けた方はオレンジリングを手にし、「将来、我が家も認知症の人を抱えるかもしれないので、認知症について正しく理解するため講座に参加しました。地域の中で気になるような人がいれば声がけをするなど、手助けをしていきたいと思っています。」と感想を語ってくれました。町内で「オレンジリング」をした人を見かけたら、その人が認知症サポーターです。

模擬裁判員裁判を体験

今別中学校



人定尋問で被告人の名前を確認

3月16日、今別中学校で2年生を対象に模擬裁判員裁判体験授業を実施しました。この日は、弘前大学教育学部の教授1名と学生5名が中学校を訪れ、裁判官2名と裁判員6名に中学生が扮し、裁判長や被告人、検察官、弁護人は大学生が務め模擬裁判員裁判を体験しました。裁判官入廷、人定尋問（被告人本人かどうか、質問をしながら確認）、起訴状朗読（被告人にどんな疑いがかけられているか検察官が説明）、冒頭陳述（事実だと考えていることを主張し、確認）、検察官尋問や証人尋問のあと裁判長は裁判員（中学生たち）に対して質問がないかを確認するなど、本番さながらの緊迫した雰囲気の中で模擬裁判が進められました。昨年5月からスタートした、一般市民が重大な刑事裁判に「裁判員」として参加する裁判員裁判制度について、ニュースや新聞等の報道に接したことがあるかとのアンケートに、中学生は「何度もある」、「ほとんどない」と答えた生徒が半々でした。しかし、今回の模擬裁判を体験し、裁判員裁判について関心を持ったようです。模擬裁判を体験した中学生の感想を紹介します。裁判のやりかたを見てとても勉強になりました。自分以外の人のことを真剣に考えることがなかったので、いい勉強になりました。今回の授業で裁判とはどういうものか知ることができました。難しかったけど、いろいろなることを知ることができました。裁判員の役をやりましたが、難しく実際に選ばれてもやりたくないです。模擬裁判を体験し、裁判の進め方がわかったので、将来「裁判員をやってください」といわれればやりたいと思います。

地区に 国旗を寄贈



国旗を手にする老人クラブ役員

大泊老人クラブ（吉田政俊会長）では、このたび大泊地区に国旗を2枚寄贈しました。これまで恵比須まつりやお山参詣等の時は、個人の国旗を借用していましたが、今後は地域の活動に利用できる、住民から大変喜ばれています。

きんべつ

今年度、今別町に赴任された方々を紹介いたします。

- ①出身地 ②前任地 ③趣味
- ④今別の印象 ⑤抱負

今別駐在所



春芳 裕長
青森市 青森署
温泉めぐり
ドライブ

海の幸、山の幸が豊富でおいしいとのこと。食べすぎてメタボにならない心配です。テレビに北海道放送が入るため、12チャンネルすべて見られることは驚きです。

今別郵便局



裕長 長利
青森市 今別郵便局
映画鑑賞

海岸線からの景色がとても美しく感動しました。特に今別海岸はコバルトブルーの海で、まわりの景色とても調和しており、素晴らしい景観です。

局長としてまだ1年生なので、不慣れな点もあるかも知れませんが、地元のお客さまを大事に、かつ良質のサービスを提供していきたいと思っています。これからも今別郵便局をよろしく願います。

今別小学校



妙子 市川
青森市 三戸町立三戸小学校
読書

海、山が近くにあり、自然豊かなところだなあと思いました。教員になって初めて海見える学校に来たので、北海道が見えた時には感動しました。

全校103名の名前と顔を早く覚え、子どもたちと仲良くなりたいたいと思います。それから町探検もして、今別町のこともいろいろ覚えたいと思っています。よろしく願います。



絢子 木立
青森市 筒井小学校
ピアノを弾くこと、美味しいスイーツを見つかること

山も海もあり、自然いっぱいの今別町。木造建築の今別小学校、温かく優しい今別のみなさん。全部好きです。子ども達の「荒馬」も楽しみます。今別小学校に赴任したことをとても嬉しく思います。

元気いっぱい、笑顔いっぱいの子ども達と、楽しく勉強したり、思いきり遊んだりしたいです。子ども達と一緒に一生懸命がんばります。どうぞよろしく願います。



麻里子 奈良
弘前市
なし
温泉

私は岩木山のふもとに住んでいますが、今別はきれいな海がひろがっていて驚きました。

給食で働くことは初めてで不安もありますが、精一杯がんばってまいります。

今別中学校



絵美 大水
青森市 中泊町立中泊中学校
おいしいもの食べ歩き

音楽室から海が見えるなんて！自然があふれているな。今別のいいところたくさん発見したいと思っています。よろしく願います。



雅子 工藤
つがる市 つがる市立稲垣中学校
ドライブ 変った文房具をあつめること

「海の町！」ってかんじです。私の生まれ育った町の近くに海の町がたくさんあります。今別には初めて来たのに、懐かしい感じがしました。

初めての町、初めての学校、元気いっぱいの子どもたちで毎日がワクワク、ドキドキです。不慣れな点もありますが一生懸命頑張ります。今別の良いところいっぱい発見したいと思っています。これから1年間、どうぞよろしく願います。

青森北高校今別校舎



昌邦 築館
弘前市 青森戸山高校
特になし

平成元年度から平成10年度まで今別高校に勤務していたこともあって、雰囲気は変わっていない。海と山に囲まれた豊かな自然が今もそこにある、のどかな地域という印象。

以前の10年間の勤務では、大変お世話になった学校であるので、地域との連携を大切にしながら、生徒たちと接していきたいと考えている。よろしく願います。



宗尊 山内
弘前市 木造高校
読書

自然が豊かなところ。北海道が見えて感動しました。少しでも今別校舎の力になれるようがんばってまいります。よろしく願います。



智哉 大川
平川市 野辺地高校
プロ野球観戦(巨人戦)

海が間近で、おいしく新鮮な海産物をたくさん食べることができるところだと、大変期待しております。教壇から少し離れておりましたので不安がありますが、早く戦力になれるよう精一杯頑張ります。よろしく願います。



津子 坪田
青森市浪岡 平内高校
ドライブ

景色のよいところだと思いました。天気がいよと北海道も見えるということなので少しうれしいです。山で育ったので、海に憧れていました。早く今別に慣れたいと思います。海沿いをドライブできるのが楽しみです。



法子 常泉
青森市
なし
料理

自然に囲まれていて、とてもものどかなところだと思いました。また、住民の皆さんが世代を超えて仲が良いという感じがしました。今年から講師になりました。これが



直子 金沢
青森市
なし
歌うこと

海がとてもきれいで、ドライブするのに最高の場所ですね。のどかな雰囲気も大好きです。

これまで自分が勉強する側だったので、「音楽」を、ついに人に教える立場に。不安もいっぱいですが、生徒たちと共に自分も成長していきたいと思っています。頑張ります！

公民館使用料が改正されました！

(平成22年4月1日から)

区分	午前	午後	夜間	全日
	9:00から12:00まで	13:00から17:00まで	17:00から21:00まで	9:00から21:00まで
集会室	1,380円	1,840円	2,020円	4,710円
和室	450円	600円	660円	1,530円
小会議室	270円	360円	390円	910円
調理室	390円	520円	570円	1,330円

- 備考
- 1 使用料には、附帯設備及び器具の使用を含むものとする。
 - 2 全日以外で、複合して使用した場合の使用料は、それぞれ使用区分の合算額とする。
 - 3 町外使用者の使用料金は、基本使用料の5割増とする。
 - 4 使用料金に10円未満の端数があるときは、これを切り捨てる。
 - 5 暖房料は、集会室1時間につき200円、その他は100円を使用料に加算する。
 - 6 調理室のガス使用料は、1時間につき100円を使用料金に加算する。

※減免制度もありますので、詳しくは今別町中央公民館(35-2157)へお問い合わせ下さい。

今別町職員採用試験のお知らせ

1. 区分、職種等

区分	職種	採用予定人員	採用予定日
上級	一般行政職	1名	平成23年4月1日
	建築職	1名	

2. 受験資格

一般行政職：昭和56年4月2日以降の出生者で、大学卒業（平成23年3月までに卒業見込みの者を含む）以上の学歴を有する者。
 建築職：昭和56年4月2日から昭和62年4月1日までに生まれた者で、大学卒業以上の学歴を有する者

3. 試験の方法及び内容

一次試験：教養科目・専門科目（各2時間）
 職場適応性検査（30分）
 内田クレペリン精神検査（40分程度）
 二次試験：小論文（約1時間 テーマは当日通知）
 面接試験

4. 試験日時・会場等

一次試験 7月25日（日） 青森市内（後日通知）
 二次試験 9月下旬 今別町内（後日通知）

5. 申込み手続き等

1) 申込み方法

申込書は今別町役場総務課に備えてあります。直接か郵便による請求のほか、今別町ホームページからもダウンロードできます。また、郵送による請求の場合は、80円切手を貼付し、住所、氏名を記載した返信用封筒を同封してください。

2) 受付期間

平成22年6月1日（火）から6月10日（木）までの土・日を除く日（午前8時15分から午後5時まで）
 郵送の場合は6月10日の消印のあるもの

3) 受付場所

今別町役場総務課
 郵送の場合は封筒表面に「採用試験申込書在中」と表示し、簡易書留で送付してください。

6. 採用条件等

(1) 給与

基本初任給 大学卒 172,200円
 諸手当（町条例、規則等による）

(2) 勤務条件

勤務時間 午前8時15分から午後5時まで
 休暇等（町条例、規則等による）

《問い合わせ先》

今別町役場 総務課 総務
 〒030-1502 東津軽郡今別町大字今別字今別167
 TEL：0174-35-2001 FAX：0174-35-2298
 ホームページアドレス
<http://www.imabetsu.net.pref.aomori.jp>

ブルーロード市町村長 テレビ公開サミット開催！

（青森市・平内町・外ヶ浜町・今別町・蓬田村の市町村長が夢を語る）

日時 平成22年5月23日（日）
 14：00から
 場所 青森市アウガ5階

《問い合わせ先》

青森地域広域観光振興事業実行委員会
 TEL 017-735-5016

こんにちは。保健師です。 ～すすめよう 健康いまべつ21～ 今年健診を受けないわ…だって…



今別町では毎年、各地区の保健協力員さんが毎戸訪問して健診受診希望を受け付けています。その際、皆さまには「受けない理由」もお聞きしていますが、その中で毎年多い理由を今回はご紹介いたします。

- ①「病院へ行ってから」 → 治療中の病気以外の検査はしませんよね。治療中の病気以外に、調子の悪いところがないかどうか、チェックすることが大切です。
- ②「とくに、悪いところもなく、元気だから」 → 生活習慣病とは、自覚症状がないから怖いのです。健診を受けない限り、早期発見をすることは難しいです。
- ③「何か見つかったら怖いから」 → 早く見つければ、早期予防、治療につなげることはできますし、受診しないことの方が将来的にみても大きなリスクです。今年健診を受診をしないと決めていた方も、もう一度考えてみてください。

今年の健診の日程

健診月日	健診場所	健診内容
7/20(火)	浜名公民館	特定健診・肺・胃・大腸・前立腺がん検診
7/25(日)	中央公民館	特定健診・肺・胃・大腸・前立腺がん検診
8/3(火)	開発センター	特定健診・肺・胃・大腸・前立腺・乳・子宮がん検診
8/12(木)	大川平文化会館	特定健診・肺・胃・大腸・前立腺がん検診
8/18(水)	奥平部集会所	特定健診・肺・前立腺がん検診
9/1(水)	砂ヶ森多目的集会所	特定健診・肺・胃・大腸・前立腺がん検診
9/16(木)	褒月会館	特定健診・肺・胃・大腸・前立腺がん検診
9/26(日)	開発センター	特定健診・肺・胃・大腸・前立腺・骨・乳・子宮がん検診

今月より、各地区の保健協力員が各世帯を訪問し、健診の申し込みをとります。内容を確認し、申し込んでください。不明な点については、保健師までご連絡ください。
連絡先 町民福祉課福祉 35-3004

ブックスタート

（絵本のプレゼント）のお知らせ

平成22年度も引き続き、今別町中央公民館では赤ちゃんと保護者に絵本を介して、ゆっくり心ふれあうひとときを持つきっかけ作りを目的に、町内に在住する乳児を対象に、健診時に絵本を1冊プレゼントします。

《問い合わせ先》

今別町中央公民館 TEL 35-2157

今別町商工会からのお知らせ 合格おめでとう

第156回全国商工会連合会珠算検定合格者

4級 平野内 優生(今別中1年)

5級 平野内 晃大(今別小4年)

議会だより

第386回定例会

平成22年度当初予算を原案どおり可決

町の一般会計予算

21億8千160万5千円

第386回定例会が3月5日に招集され、12日までの8日間の会期で開催されました。

提案された議案は、専決報告2件、平成21年度補正予算案8件、条例案9件、その他2件、平成22年度予算案8件、人事案件3件のあわせて32議案で、いずれも原案どおり承認・可決・同意されました。

発行/東津軽郡今別町議会
編集/議会広報委員会

No.163

◆ 条例関係 ◆

- 特別職の職員で非常勤のものものの報酬及び費用弁償条例の一部改正
- 農業委員会委員の報酬月額を改めるためのもの。
- 今別町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
- 今別町職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- 職員団体のための職員の行為の制限の特例に関する条例の一部改正
- 今別町職員の給与に関する条例の一部改正
- 労働基準法の改正に伴い、超過勤務手当の支給を改めるためのもの。
- 今別町教職員住宅管理条例の一部改正
- 教員住宅使用料を改めるためのもの。
- 今別町立公民館の設置及び管理に関する条例の全部改正
- 昭和37年に制定された条例のもとでは、現状の運営と異なる部分も多くなつてきているため条例の全部を改正するもの。

◆ 人事関係 ◆

- 今別町国民健康保険高額医療費等資金貸付基金設置条例の一部改正
- 入院の際、限度額適用認定証などを届出することにより、これまでの負担が軽減されたことに伴い、利用者が減少したため基金の額を減額するためのもの。
- 今別町訪問介護手数料徴収条例を廃止する条例
- 町直営の訪問介護事業は「ひより」の民間移譲後に行っていないことから、条例を廃止するためのもの。
- 人権擁護委員の候補者の推薦について 藤田光雄氏（今別73歳）を推薦することに同意。
- 今別町副町長の選任について 阿部義治氏（今別59歳）の選任に同意
- 今別町教育委員会委員の任命について 澤田 渉氏（浜名58歳）の任命に同意

◆ その他 ◆

- 西田地区コミュニティハウスの指定管理者の指定について
- 西田町内会長を施設の指定管理者とするもの。
- 今別町へき地保健福祉会館の指定管理者の指定について
- 二股地区総代を施設の指定管理者とするもの。

◆ 専決報告 ◆

- 21年度一般会計補正予算 国の一次補正による地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業の追加分として計上したもの。
- 21年度一般会計補正予算 国の二次補正による地域活性化・きめ細やかな臨時交付金として計上したもの。

◆ 予算関係 ◆

平成22年度会計別当初予算額

(単位：千円)

会計名	22年度予算額	21年度当初予算	増減率(%)	
一般会計	2,181,605	2,083,336	4.7	
特別会計	国保(事業勘定)	618,074	692,948	△10.8
	国保(診療施設勘定)	147,227	163,049	△9.7
	老人保健	589	656	△10.2
	後期高齢者医療	47,322	43,563	8.6
	介護(保険事業勘定)	377,454	381,473	△1.1
	介護(介護サービス事業勘定)	31,002	60,111	△48.4
簡易水道事業	128,853	123,124	4.7	
合計	3,532,126	3,548,260	△0.5	

平成21年度補正予算の概要

(単位：千円)

会計名	補正額	補正後の額	補正の主なもの		
一般会計	△41,326	2,811,002	電子情報通信管理費委託料 15,765		
			工事請負費 △56,223		
			診療所への繰入金 30,000		
			グループホーム		
			開設準備経費助成金 5,400		
			後期高齢者医療給付費負担金 3,155		
			原燃サイクル交付金事業 (パイプハウス建設工事請負費) △6,506		
			観光看板設置分 △1,026		
			国保(事業勘定) △92,780	617,611	保険給付費 △62,000
			国保(診療施設) 24,598	247,077	診療所への繰入金 30,000
老人保健 △60	5,341				
後期高齢者医療 △3,536	41,734				
介護(保険事業) △22,898	373,319				
介護(サービス事業) 226	64,074				
簡易水道事業 401	189,209				
合計	△135,375	4,349,367			

議会の動き

1月	2月	3月
15日 今別町新年会	3日 原子燃料サイクル意見交換会	2日 議会運営委員会
21日 今別町文化賞・スポーツ賞授与式		5日 第386回定例会
22日 今別町ふれあい福祉スポーツ大会		12日 議会広報委員会
27日 議会広報委員会		24日 平成21年度国道280号バイパス建設及び整備促進期成同盟会総会
		25日 青森地域広域消防事務組合 青森地域広域事務組合 議会
		5日 今別町社会福祉大会
		7日 今別町消防団鎮火祭
		8日 東郡町村議会議長会総会
		11日 今別町婦人芸能祭
		12日 行政説明会
		20日 今別・知内両町議会議員交流会
		23日 県町村議会議長会総会



一

般

中島 邦彦 議員

○仮称「奥津軽駅」の水道

水確保対策は

質問 開業に向けて駅前整備と駅構内での飲料水など水路の確保に伴い、二股地区水道供給計画はどのようになるのか

総務課長 3月に国土交通省へ認可申請の予定になっており、具体的な水需要の見込みについてはまだつかめない状況にあります。

二股浄水場は、昭和53年に建設され、30年以上が経過し施設の老朽化が進んでいる状況にあり、また、雨天時の川の濁りも多く、濁度対応に苦慮しています。浄化能力への対応と新幹線駅施設関係の需要予測を早期に把握し、施設整備を進めたいと考えています。

○町税等の収納と滞納状況

は

質問 平成21年度の町税をはじめ水道、住宅料等の全会計の収納と滞納状況はどのようになっているのか。

総務課長 現年度分の町税の収納状況は、1月末現在で、町民税（個人と法人の合計）の調定額82,790,388円に対して、収入額は64,080,172円で77・40%の徴収率です。

固定資産税は、国有資産等の交付金を含めた調定額134,986,900円に対して、収入額は127,071,700円で94・14%の徴収率です。

軽自動車税は、調定額6,225,700円に対して、収入額は6,031,700円で96・88%の徴収率です。

町たばこ税は、調定額、収入額は同額の12,753,892円で100%の収入

質

問

富士 和比古 議員

○温泉の発掘について

質問 町民の憩いの場として、また、新幹線の利用客を観光誘致のためにぜひ実現したいと考えます。具体的な内容についての説明を求めたい。

町長 長く続いた赤字財政も何とか無事に切り抜け、今度は町民に楽しく、潤いのある町づくりが必要ではないかと、20年度の黒字決算が見えた7月ころから、役場内で話し合いが行われてきました。

6年後の奥津軽駅誕生も視野にいれながら、長い時間をかけ検討した結果、町おこしに最も必要なものは温泉の発掘と特産物の開発であるとの結論に達したのであります。しかし、資金の調達など難しい課題もありませんが、なんととしても実現する考えであります。

それらを踏まえ2月に入り、各種委員会などで、発表し賛同を得ながら、2月12日議会の行政説明会において正式に発表を行い、調査費1,000万円の予算計上も了承頂き今議会に提出している訳であります。

また、発掘する場所や工事資金、更には発掘が成功した場合の運営方法等、具体的な案件については、22年度中には作りたいと考えています。

○庁舎の新築について

質問 町長が就任当初から公約された庁舎の新築問題です。庁舎の老朽化が進み、危険度も日増しに高まっています。具体的な検討をする時期に入っているのではないかと。

町長 私の記憶では昭和29年春の大火災によって焼失した後に建設され、今や56年を過ぎその間、増築や改築を重ねて来たものと思われませんが、現在では老朽化も甚だしく危険な建物であり、建築基準法上問題も多く改修も出来ない状況を深く認識し、大変苦慮している処であります。

私は8年前の選挙で庁舎の建設を公約に掲げたのも事実であります。

町の財政は黒字との町の広報を信じ当選と同時に建設計画に入り、設計のコンペを行い設計業者も内定した処で、町の財政収支は大幅な赤字であることが明らかとなり、建設を断念せざるを得なかったことは誠に慚愧に堪え難いものがあります。

もし、あの時建設を行っていたら町の財政はどうなっていたであろうか、おそらく再建団体になっていたのは間違いないと思います。

それから、7年間は財政は赤字収支が続き、まさに塗炭の苦しみを味わったことは、議員の皆さんもご承知の事と思いません。

そして、永く続いた赤字財政も20年度の決算で、8年ぶりによく黒字に転換出来たことは、誠に嬉しく関係する皆さんに深く感謝している処であります。現在の財政状況では建設時期を云々することは甚だ難しい処であります。

職員の安全や衛生、環境の問題を考え、場合、半年でも1年でも速く建設したい思いは強く感じています。

○農漁業の振興策はあるのか

質問 町の基幹産業である農漁業に従事されている方々は、毎年収入が減り厳しい生活を強いられています。町としての対策を伺いたい。

産業建設課長 昨年の漁業については、過去に例がないほどの不漁で心を痛めています。今別地区のナマコについても資源の減少や小型化が懸念されています。

町では、今年度、ナマコ資源の拡大を図るため、これまでの漁業振興補助金を拡大し、原子燃料サイクル事業の補助活用による、ナマコ等種苗放流事業を漁協と共に推進しています。

来年度以降も継続実施の方向で調整を進め、この事業の拡大により漁業者の所得向上と経営の安定が図られるものと期待を寄せています。

○町の活性化について

質問 (1) まずは人材育成から

町作りは人材作りともいわれるので、個々の職員が持つ特性・能力が十分発揮されるように適材適所に配置されているのか等も検討を重ねていくことも必要があると考えますが、いかがでしょうか。

総務課長 町づくりに人材育成は欠かせないものと同じ考えです。特に職員の資質向上のための研修等の開催については以前より職員へ指示しており、職員数が減り、益々職員個々の資質向上が必要となりますので、今後努力し、その能力が発揮されるようにしてまいります。

質問 (2) 町おこしのためのプロジェクトチームを

新たな企画のためには専門チームを作ること、成功例を出している町村を研修させること、更にはレポートを出させ、斬新なプランを出させるなど、具体的に動かすことが大事であると思えますがいかがでしょうか。

総務課長 現在、町の活性化に係る具体的な対策については、東北新幹線の新青森駅開業に向けた対策につながるという

ことで、町の観光資源を改めて見直し、隠れた資源の掘起こしや、主に広域の組織の中で津軽半島を一つの圏域として対策や観光メニュー開発などを検討しています。もちろんそれには、各町村それぞれに地域の中で検討や対策を講じていかなければならないことと考えています。

そのためには、専門のプロジェクトチームの設置ということになりますが、現状では組織の体制全般を見直す必要があると考えています。そのうえで、専門的に設置できるのか、兼任という形になるのか、あるいは一般の方も含めた形で検討会議などの中で、具体的に行動していけばいいのかが、検討したいと思えます。

質問 (3) 少子高齢化問題について

この問題へどのように取り組むのか、今年度の新入生の人数と高齢化比率を伺いたい。

町民福祉課長 少子化問題については、今別町次世代育成支援行動計画を策定し、地域における子育て支援や、親子の健康の確保、教育環境の整備等さまざまな施策を関係機関と連携を深めながら計画の着実な推進に努めていきます。

高齢化問題については、今別町の高齢化率は2月1日現在41・69%と県内で一番高いため、関係部署が連携を取りながら、健康指導、健康相談、保健指導、検診事業、介護予防事業を実施し総合的な高齢者支援を行うと共に、住み慣れた地域で生活を継続できるように、居宅サービス、グループホーム建設整備等については関係団体と連携しながら高齢者問題に取り組んでいく必要があり、これからも、町民が住みよい町づくりを進めてまいりたいと思えますのでご理解とご協力をお願いいたします。

教育課長 今年度の今別小学校1年生の学齢児童として男13人、女5人の計18人に入学通知しました。

現段階では、外ヶ浜町三厩から男1人が転入し、女1人の入学希望がありますので、計20人を予定しております。

○青銀今別支店の利用について

質問 青銀の旧今別支店を本町の集会所として活用できないものか、ATM利用者の待合室として利用できないものか伺います。

教育長 第一点は施設の管理・運営ですが、管理は教育委員会とし、運営は緊急雇用創出事業で嘱託職員1人を任用、教育委員会事務局と連携の上で管理・運営に当たります。

第二点の利用については、公民館の図書部門を移転し、読書環境の整備拡充を図るものです。

移転により、生涯学習に係る読書活動の更なる進展が図られると同時に、スペースを見て町民の文化活動の作品展示等を考えています。その他の利用については、管理面を考慮しながら計画的に進める必要があると考えています。

○農家戸別補償について

質問 2010年度からスタートする米の農家戸別補償についてどのような内容か、生産調整減反を今後維持できるのか、町内では対象になる農家数はあるのか伺います。

産業建設課長 国では、意欲ある農家が水田農業を継続できる環境を整えることを目的に、平成22年度については、「米戸別所得補償モデル事業」を実施することとしております。

生産数量目標に即した生産を行った農家に対し、主食用米の作付面積から一律10aを控除した耕作面積に10a当り15,000円を支給する定額部分と、当年産の販売価格が標準的な販売価格を下回った場合に、その差額について支払う変動部分から成り立つ仕組みとなっております。町では、関係機関や地域協議会と共に農家の方々があしでも多くの補償が得ら

れるよう地区説明会等を開催し、制度の浸透を図って参ります。

○特産品開発状況について

質問 新幹線開業に伴い観光客の来町が見込まれる中、町特産品開発に取り組んでいるグループ数、商品として販売されている数を伺います。

総務課長 町内には現在、任意の加工グループや個人での加工品や商品開発をしている方がいます。その数については今のところ把握しておりませんが、町としても、町内外での物産展や多くの催し物がある際には参加にご協力をいただき、

町のPRにも一役かっていたいただいています。

そのようなグループや個人が各地域にもっと増えれば、それぞれの特性を生かした加工品や商品が新たに生まれ、地域の活気も取り戻すことが出来るかもしれませんので、今、積極的に取り組んでいる方々の活動状況をもっと地域内に紹介しながら、おもしろそうだから自分たちもやってみようかという人やグループが一人でも、ひとつでも出てくるよう意識の高揚を図ることから取り組んでいきたいと思っております。

今別町議会委員会が組織替えされました

常任委員会委員の任期満了に伴い、各常任委員会の構成が次のとおり組織替えされました。新委員の任期は平成22年4月1日から平成24年3月30日までの2年間です。

○産業建設常任委員会
委員長 中島 邦彦
副委員長 福士和比古
委員 福士 直治
〃 本郷 良克
〃 小鹿 勉
〃 長島三千次
〃 明田 平苗

○総務文教常任委員会
委員長 明田 平苗
副委員長 小鹿 勉
委員 福士 直治
〃 本郷 良克
〃 福士和比古
〃 中島 邦彦
〃 長島三千次

○議会広報委員会
委員長 福士和比古
副委員長 福士 直治
委員 本郷 良克
〃 中島 邦彦

○北海道新幹線 開業促進特別委員会
委員長 小鹿 勉
副委員長 中島 邦彦
委員 福士 直治
〃 本郷 良克
〃 福士和比古
〃 明田 平苗

○議会運営委員会
委員長 本郷 良克
副委員長 福士 直治
委員 福士和比古
〃 中島 邦彦
〃 小鹿 勉
〃 明田 平苗

今別・知内両町議会議員交流会

去る2月20日から21日まで、知内町にて第3回今別・知内両町議会議員交流会に出席してまいりました。

青函経済圏に伴う両町の課題解決のため一層の友好を進め、情報を深め、地域経済の振興発展に寄与することを目的として、1日目は両町産業経済、文化発展のための情報交換及び、北海道新幹線の開業に向けた両町の課題等に向けての研修が行われました。

意見交換時には、今別町同様知内町も始めて開催した議会報告会については、町民からの意見、苦情、要望等にどのように対処したのか、更には、町民にもっと議会を身近に感じてもらうためには傍聴者をいかにして増やすのか、少子高齢化問題の両町の取り組みについてなど、これからの課題等について熱く意見が交わされました。

その後、知内町健康保養センター「こもれば温泉」施設を見学した後、整備事業の概要と管理・運営についての説明を受けました。

2日目は、「カキとニラまつり」のイベントに出席し、自治体振興と町の活性化についての意見交換が行われました。同じ、津軽海峡に面した知内町が山の幸、海の幸を上手く商品化につなげ町全体が潤って、人口減少の歯止めにもなっており、この日も多くの町民が祭りを楽しんでいました。

2日間の交流会が、大変、意義のある研修になったことを報告いたします。

今別・知内両町議会議員交流連絡協議会
会長 長島 三千次



情報交換する両議員



カキとニラを使った料理に舌鼓

議会傍聴は、町政参加への第一歩です

皆さんの納めた税金がどのように使われているのを知りたい方、将来、政治経済を学びたい学生さん、議会を傍聴してみませんか。

議会傍聴は、名簿に氏名と住所を記入するだけで、どなたでも傍聴できます。次回の定例会は6月です。

イ マ ダ ス

まちの行事予定

(5/1~6/10)

※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

5/1 (土)	・海峽いまべつ春まつり《さざなみ公園》	観光協
16 (日)	・今別中学校体育祭	中学校
19 (水)	・乳幼児健診、フッ素歯面塗布 《開発センター、今別保育園》	福祉
23 (日)	・県民体育大会郡予選 (軟式野球、ソフトボール) 《今別町山村広場》	教育
30 (日)	・今別小学校運動会	小学校
31 (月)	・固定資産税第1期納期限	税務
6/1 (火)	・人権・行政相談《中央公民館》	総務
3 (木)	・第1回キクの会《開発センター》	社協
6 (日)	・県民体育大会郡予選(バレーボール) 《外ヶ浜町蟹田体育館》	教育



①大澤 昇くん
②関口
③自動車修理工
いろいろなことを経験したり、いろいろな物を見たりしながらたくさん勉強して覚えていきます。そして、将来、役に立ってほしいです。

ほくは、自動車修理工になつて、自動車が故障して困っている人がいたら、その人が笑顔になるように一生けん命直してあげたいです。たくさんの人に喜んでもらえる人間になりたいと思っています。



①笹谷 双葉さん
②西田
③ベイトショップの店員
6年生になるとみんなをまとめていかなければならなりません。だから、下学年の手下となるように、まず自分から率先して、何事にも取り組んでいきます。

また、6月になると修学旅行があります。特に、自由行動という所に行くのが楽しみです。グループで協力し合うためにも、ときばき動いてみんなに役立つ行動を心がけたいと思います。

町の元気な子ども達

「今別小学校6年生」
①氏名 ②地区名 ③将来の夢

地区座談会開催のお知らせ

今年度の地区座談会は、下記のとおり開催します。

地区名	開催日	開催時間	開催場所
今別・浜名	5月26日(水)	午後6時から	今別町中央公民館
大泊・褓月	5月27日(木)	午後6時から	褓月会館
奥平部・砂ヶ森	5月28日(金)	午後6時から	奥平部集会所
村元・山崎	5月31日(月)	午後6時から	村元会館
大川平・二股 鍋田・関口	6月1日(火)	午後6時から	大川平文化会館

きこうりの人 ②

小鹿敏夫さん (今別 83歳)



公民館まつりで実行委員長をつとめた小鹿敏夫さん

平成5年から今年4月まで、町文化団体連絡協議会長を務め、今年3月に20数年ぶりに「公民館まつり」を開催し、実行委員長をつとめた小鹿敏夫さんをご紹介します。

かつては公民館講座の盆栽愛好会の会員も多く、小鹿さんもその会員でした。その愛好会が公民館で春に盆栽を展示したのが「公民館まつり」のはじまりで、第1回目の公民館まつりは「盆栽と書道展」だったと小鹿さんは

振り返ります。

以後、「産業と文化のまつり」で文化団体の作品なども一緒に展示するようになり、公民館まつりの開催もなくなりませんでした。

それが昨年、中央公民館がリニューアルされ、町民の強い要望もあり、公民館まつりの復活へとつながりました。まつり当日は、多くの町民が訪れ、大盛況で小鹿さんも大変喜んでいました。

小鹿敏夫さんが「ケン様」と呼ばれているのは多くの町民の知るところでしょう。ところでその呼び名はどうして?と素朴な疑問を投げかけたら、「父親の名前が小鹿謙一郎(けんいちろう)で、そこからケン様とよばれている」とのことでした。

技能主事として昭和37年4月から昭和62年3月まで25年間の長きにわたり勤務した県立今別高校では、小鹿さんが退職するとき、小鹿さんと関わりのあった教職員80名以上の方が参加し「ケン様を囲む会」を盛大に開催しました。記念写真におさまった人々の数

は学校始まって以来最多とのこと、今別高校創立40周年記念誌にも「新旧職員全員集合」との見出しで掲載されています。そんなところからも、小鹿さんの皆に好かれ、実直で勤勉な人柄がうかがえます。昭和62年に定年退職後も宿日直代行員を平成20年3月まで務めました。

その他、町の要職にも数多く就任しており、ケン様の名は広く知られているところでした。



昭和62年の「ケン様を囲む会」で花束を受ける小鹿ご夫妻(花束を抱える妻のきぬさん)

入学式の日、早めに出かけてあの坂道を登校する一年生の姿を撮影しようと思いましたが、しかし、統合により全町から今別小学校にやってくるため車から来る方が多く、坂道を登ってくるのは数人で、大半は校舎の裏の駐車場からやってきました。少し拍子抜けし、時代の移り変わりを実感しました。

宇宙へ飛び出した山崎直子さんの夫の大地さんも、実は宇宙飛行士になりたかったそうです。しかし、自分の夢を後回しにし、妻の夢を支え、自分は宇宙飛行士の夫となりました。その彼は「誰かの夢のために犠牲になるのではなく、協力し合うのがいい」と思っていました。素敵な夫を持つ直子さんは夢をかなえ、宇宙で琴の演奏をしていましたね。

編集後記

(広報担当 木津歌子)

「あぶないよ」その一言がみんなを守る